

みどりの風



当院では爪白癬(爪水虫)の 検査を実施しています

つめはくせん

今月は爪白癬(爪水虫)検査について紹介します。

爪水虫の特徴と症状

白癬(水虫)を長期間放置しておくと皮膚から爪の中へと白癬菌が侵入し、爪白癬(爪水虫)を発症します。爪白癬(爪水虫)は一度発症すると、なかなか治りづらいやっかいな病気です。

症状は爪が白色や褐色に濁り、分厚くなります。爪には神経がないため、かゆみや痛みといった自覚症状はありませんが、分厚くなり過ぎると靴を履くときに圧迫され、痛みを感じる場合があります。

ほとんどの場合はすでに水虫(足白癬)を患っており、そこからの感染で発症します。また爪白癬(爪水虫)は患部から別の部位に白癬菌をばらまいてしまう可能性高くなりますので、早めの治療をオススメします。

爪白癬(爪水虫)の対処法

まずは医師の診察、診断を受けることが大切です。爪白癬(爪水虫)を疑う場合には診断に移ります。診断は肉眼だけの診断はせず、必ず顕微鏡による検査を行います。検査所要時間は20分～30分程度です。



足は常に清潔に保ちましょう



気になる自覚症状がある場合は
スタッフに声をかけてください。

臨床検査技師 横田

お知らせ

☆11月8日(日) ウォークラリー
8:30～12:00予定
受付にお申込み用紙がございます。
必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
皆様のご参加をお待ちしております。

☆インフルエンザの予防接種が
始まります。

期間: H27年10月1日
～H28年3月31日まで
早めの接種をお勧めしています。